

グループワークまとめ

口腔ケアの必要性を本人や家族が理解をしていないことが多く、支援につながらないとの意見が多かった。また口腔機能（嚥下機能）のアセスメントなど、専門職（歯科医師、歯科衛生士、ST）以外では難しいことも多く、口腔ケアを進めていくにあたってチームでのアプローチや連携が必要との意見が聞かれた。

そのほか、口腔ケアは本人が拒否することも多く介助がしづらいため、使いやすいもの、安価なものを家族へ紹介し、負担が少なくなるようにしているとの回答があった。

<よくある口腔トラブル>

・ 義歯が合わない。
・ 抗がん剤の副作用で口腔乾燥がある。乾燥すると汚れやすい。
・ 口腔ケアを拒否される（認知症など）。
・ 痰のケアが大変。
・ 骨粗しょう症の薬を内服している人のケア
・ 義歯をなくす。
・ 在宅だと義歯を外さない人がいる。
・ 胃ろうの方で、義歯や口腔ケアをしない。

<口腔ケアの方法について意識している点や工夫している点>

・ 施設では食事の前に口腔体操をしている。
・ 口腔ケアを拒否する人には、味のする歯磨き粉を使うと反応あり。
・ 疲労度を見てケアの時間を決定している。
・ 痰のこびりつきのケアが大変。苦痛がないように気を付けている。
・ 認知症の方は拒否が強い。コミュニケーションをとるようにしている。
・ 本人ができることを見極めて、出来たらほめるようにしている。
・ 栄養状態を重視し、食形態を工夫し、食べられるようにする。
・ 嚥下機能が低下している方のケア時には、食事摂取時の姿勢を指導している。
・ 口腔ケアができていない方へは、訪問歯科を提案している。
・ 寝たきり、気切の方など汚れがひどい方は数回に分けてケアしていた。
・ 認知症の方は説明しても忘れてしまうため、プリントを渡してできることを自宅でもやってもらっている。
・ ケアするときの患者の姿勢に気を付けている。
・ 早口言葉だとお遊戯を嫌がる男性もやってくれることがある。

<家族への指導内容>

・ ジェルや歯磨きティッシュなどを家族に紹介している。
・ 家族は「歯がないから磨かなくていい」という人がいる。あきらめずに口腔ケアの大切さを伝えている。
・ 食べられない人にどうやって栄養を取るか提案している。

<チームアプローチ、連携したいこと>

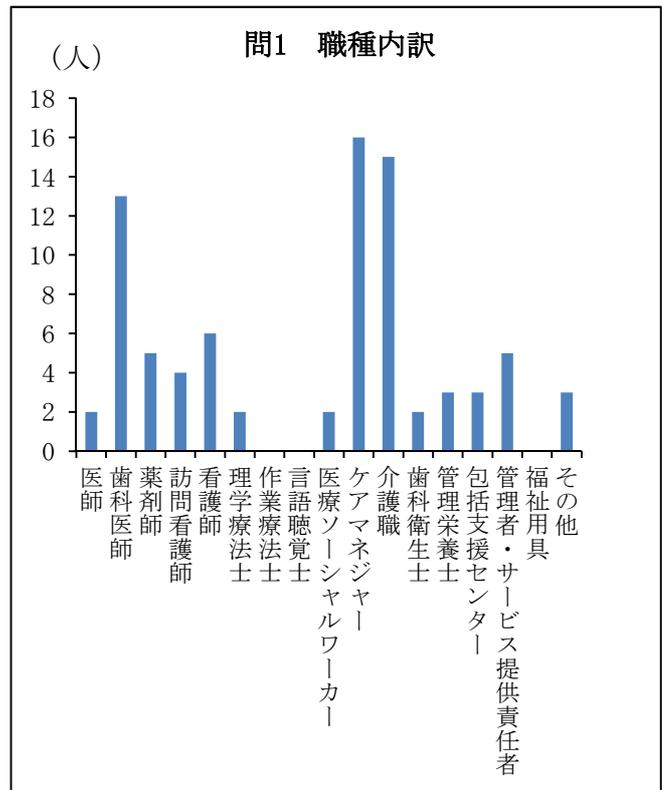
・ 骨粗鬆症の内服薬など、歯科医師から内科医、薬剤師に問い合わせ、確認を行っている。
・ 介護福祉士は家族からの情報を得やすいため、他のスタッフと情報を共有している。
・ 嚥下がしにくい方の評価をSTに依頼している
・ 嚥下機能が低下している方にも食事を食べさせたい。訪問歯科の方と連携を深めたい。
・ STの評価結果を共有することが大事。

<家族の負担にならないように配慮すると良い点>

・ 家族の負担にならないように、「できる範囲で」と伝えている。
・ 本人、家族が歯科へ連れて行けないという段階で相談できるとよい。
・ 内服薬と歯科治療について在宅歯科から内科、薬局への確認をする。
・ 歯医者に連れていくことが家族の負担。

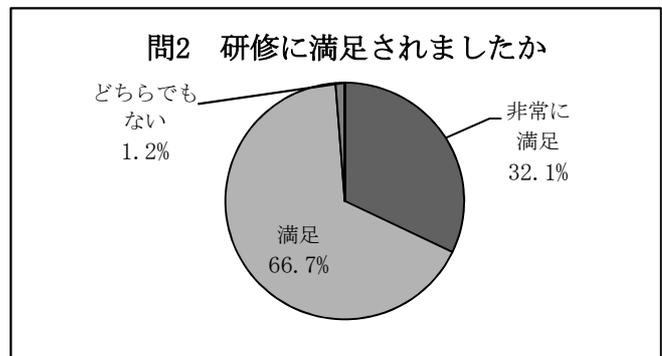
問1. 職種内訳

職種	人数	割合
医師	2	2.5%
歯科医師	13	16.0%
薬剤師	5	6.2%
訪問看護師	4	4.9%
看護師	6	7.4%
理学療法士	2	2.5%
作業療法士	0	0.0%
言語聴覚士	0	0.0%
医療ソーシャルワーカー	2	2.5%
ケアマネジャー	16	19.8%
介護職	15	18.5%
歯科衛生士	2	2.5%
管理栄養士	3	3.7%
包括支援センター	3	3.7%
管理者・サービス提供責任者	5	6.2%
福祉用具	0	0.0%
その他	3	3.7%
無回答	1	



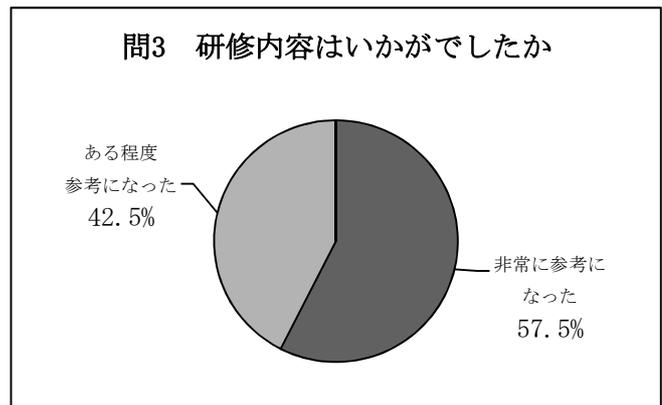
問2. 研修に満足されましたか。

項目	人数	割合
非常に満足	26	32.1%
満足	54	66.7%
どちらでもない	1	1.2%
不満	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%
無回答	1	



問3. 研修内容はいかがでしたか。

項目	人数	割合
非常に参考になった	46	57.5%
ある程度参考になった	34	42.5%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
よく分からなかった	0	0.0%
無回答	2	



問4. 活用したい内容について

項目	人数	割合
はい	65	90.3%
いいえ	7	9.7%
無回答	10	

<内容>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケア（歯磨き、マッサージ、用具、体位やふき取りの手順）について 13名 ・ MCするときに口唇の周りを触りながら、口角から口腔へというのができていなかったのも、勉強になりました。 ・ 声掛け後、すぐスポンジブラシを口に入れようとしていました。 ・ スタッフや利用者・家族へ口腔ケアの必要性、重要性の周知・提案 12名 ・ 義歯の扱い方（交換時期、安定のさせ方、洗浄方法、適応、残根のケア等） 8名 ・ 認知機能の状態によって、義歯の使用判断を誤ってはいけないことを知れました。飲み込んでしまう危険があることを発信する場面もあることを知れました。 ・ 歯科受診の声掛け、訪問歯科、歯科衛生士へのつなげかた 6名 ・ 「口腔機能向上プログラム」があること 4名 ・ 口腔体操（口輪筋、発声、口の動き、早口言葉） 6名 ・ 食形態に関して（嚥下に適さない食品や形態、やわらか食、食形態アップの基準） 6名 ・ 食事摂取の介助方法（体位、良くない介助方法、スプーンの取り扱いなど）4名 ・ 歯科医師のアドバイスが参考になった 3名 ・ 口腔内の観察（痂皮や舌の状態など）2名 ・ 「老嚥」という言葉 ・ PAP等へ歯科での舌接触補助床

問5. 口腔ケアや食事の支援で困っていることはありますか？

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人・家族が口腔ケアの必要性を理解していない事が多い。 ・ 口腔ケアの必要性を、受け入れられないことがある。 ・ 口の中のケアをさせてくれない方のケアの仕方 ・ 痰のこびりつき除去、拒否が強い方への関わり方 ・ 歯ブラシを口腔内に入れることを嫌がり、口腔ケアができない。 ・ 開口の協力を得られない患者さんの口腔ケア ・ 認知症の方の口腔ケアのやり方 ・ 認知症の方の食事支援（入れ歯を異物として認識してしまう） ・ 認知機能の低下により、ムセこまれても、そのまま食べ続けられる。 ・ 嚥下機能が低下された方の低栄養 ・ 嚥下機能が低下している方や家族が食事摂取を望まれることが多い。 ・ 義歯を使わない人がいるので、上手く声かけできない。歯医者に相談して…とか言えな ・ 入れ歯が合わない方が多い。 ・ 義歯を調整しても合わない・痛いと言って使用しない患者さんがいたので、困ったことがありました。そのまま使用してもいいか分からず、こちらもすぐ外してしまうことがあった。 ・ 食形態について本当にあっているのか？食べたいのに食べられないこと。 ・ 食形態に合わせていくことが難しく、全員の方に合わせるができない。 ・ 自宅と施設での食形態の差がある。 ・ 食事形態の変更・時期・形態について適正か不安。 ・ 唾液が出やすくなる方法が分からない。 ・ 口腔ケアの時間、介助数とCWとの数が合わず、1人当たりの時間が少なくなってしまう。 ・ 一人暮らしの方で口腔ケアがなかなか定着しない。 ・ 独居の方はなかなか受診できない ・ 独居の方。栄養面・経済面に余裕なく、同じものばかり食べる。インスタント麺とか… ・ 自宅での口腔ケア方法 ・ 時々歯磨きをしていて歯ぐきから出血して止まらない利用者様がいる。きれいに磨いてほしいけど、磨きすぎると出血、傷付けるので気をつけながらしています。 ・ 食欲低下者への介入
--

- ・ 口腔評価した後の歯医者へのつなぎ方
- ・ 口腔体操の実施方法について
- ・ 家族・本人・支援者達との意志統一を図ることが難しい。個々での働きかけで止まってしまう事がほとんどである。

問6. もっと聞いてみたいことはありますか？

- ・ 管理栄養士さんの話
- ・ 歯科医に求めるもの
- ・ 効果的な口腔ケア
- ・ 口腔ケアは、人それぞれの状態で違うと思うので、いろいろなケアの方法が知りたい。
- ・ 必ずした方がいい口腔ケアの内容
- ・ 意思疎通のとれない方への口腔ケア
- ・ 拒否が強い方への上手いアプローチの仕方
- ・ 口腔ケアにおける時間のとり方(必要時間)
- ・ ケア用品の使い方
- ・ 歯医者によってブラシ(かため・やわらかめ)の使用するタイプが違う。
- ・ 口腔ケア用具の使い方。デイケアの口腔加算でどのようにしてるのか？
- ・ ブラッシングの際に気をつける点についてもっと聞きたいと思った。
- ・ 口内炎の対策・治療
- ・ 嚥下機能が低下した場合の食事について
- ・ 日頃から予防するための体操
- ・ 唾液が出やすくする方法
- ・ 認知症(重症)の方への義歯の調整
- ・ 食形態。栄養のとり方
- ・ 家族介護者の口腔ケア知識が少ない。
- ・ 機能低下していないかを簡単にチェックできるツール
- ・ 口腔評価で気をつけた方がよいこと

問7. 研修への意見、今後企画してほしい内容

<研修テーマ>

- ・ 福祉用具のUp to Date(最新のもの)
- ・ 介護の仕方について
- ・ 認知症の方への義歯の使用について
- ・ 看取りについて
- ・ 認知機能を向上するためには何が出来るか？
- ・ 8050について、本人だけでなく家族への支援
- ・ 家族支援、介護者へのサポート
- ・ 他制度の活用について
- ・ 介護士。認知症の方への対応
- ・ 退院支援で困ったこと

<感想>

- ・ 特に医師・歯科医師の話が勉強になった。
- ・ 「何故かな」が、Dr.に確認できました。ありがとうございました。
- ・ さまざまな職種の立場からの意見が聞けて、とても勉強になった。
- ・ 口腔機能だけでなく、ケアの大切さを元気なうちに知っていただき、ご自身で意識を持っていたように知る事ができ大変よかったです。
- ・ 訪問の現場でどのような事で困っているのか、話が聞けて良かったです。
- ・ グループワークが(緊張しましたが)とても勉強になりました。

<運営に関する意見>

- ・ ポイントを絞って開催してほしい。
- ・ グループワークをもっとしたかったです。